

● 1970年

- 1月1日「前進」六九年十、十一月決戦の総括と七〇年代の基本路線(清水丈夫)
- 1月9日「戦旗」第207号「疎外革命論」「危機論・戦略主義」を止揚し、革命党の七〇年代闘争へ(共産同政治局)
- 1月10日全大阪反戦青年委員会常任幹事会(中核派・革マル派に対して自己批判を要求)
- 1月10日三里塚反対同盟幹部会—革マル派排除決定
- 1月×日共産同第5回中央委員会(社学同の解散、共産主義青年同盟(KIM)へ統合)
- 1月×日機関誌『世界革命』—創刊(前衛編集委員会「共産党原則綱領草案」岩田 弘)
- 1月×日雑誌『構造』1月号—創刊(経済構造社～71年6月号廃刊)
- 1月14日東京地区反戦連絡会議—革マル派との絶縁声明
- 1月16日共産同赤軍派武装蜂起集会(全電通会館・70年秋期前段階武装蜂起、国際根拠地建設等方針/800人)
- 1月18日東大一月決戦一周年労農学大集会(磯川公園1万3千名)
- 1月23日熊本県立熊本高校/全学闘争委員会・熊本地区高校生共闘会議、突入
(「生徒の政治活動に関する指導指針」反対)
- 1月30日『赤軍』NO7『国際根拠地・蜂起の軍隊・国際地下組織』の三つの教訓の物質化
- 1月30日「戦旗」第210号「現代無政府主義＝赤軍派批判 十月蜂起・国際根拠地論の本質」(佐々木和雄)
- 2月4日全軍労解雇粉碎・沖縄ゼネスト春闘勝利全関西労学市民大統一行動(中ノ島公園)
(大阪地区反戦連絡会議、関西地区反戦連絡会議、全関西大学共闘)
- 2月7日共産同赤軍派全関西武装蜂起集会(森之宮労働会館 1500人)
- 2月11日紀元節粉碎・卒業式闘争勝利全都高校生総決起集会(2・11実行委員会・明治公園)
- 2月14日同志社大学学生会館・寮で共産同と赤軍派武装衝突—赤軍派敗退
- 2月×日社学同「妖雲亭」フラクション—形成(「理論戦線」派～鈴木正文・椎野礼仁・米田隆介・西田 輝・
中村進・佐脇正祐・大下敦史・城山 徹・笠置華一郎・倉畑円志)
- 2月×日「解放の旗」第8号
- 2月15日『赤軍』NO8「共産同連合派批判特集」
- 2月×日「左派」(共産同神奈川県委員会・稲沢 徹・鈴木路彦・旭凡太郎・村田能則)—創刊
- 2月×日社学同全国委員会全国合宿(千葉)—北海道・九州・関西地方委員会他・
日向 翔による関西プント・田原 芳批判・
- 2月27日社会主義学生同盟第五回全国大会(共産主義青年同盟への合同・明治学院大学)
- 2月28日安保・沖縄・春闘全国反戦労働者討論集会(東京)
- 2月28日「解放の旗」特別号
- 3月1日京都市立洛陽工業高校/卒業式演壇占拠
- 3月4・5日共産同赤軍派中央委員会総会(第2次政治局/塩見・田宮・高原・川島・森)
- 3月6日総評第三十九回臨時大会—六月安保闘争ゼネスト撤回
- 3月8・9日全国学生解放戦線第二回大会
- 3月13日全関西革命戦線総決起集会(同志社大学)
- 3月13日「戦旗」第215号「社学同組織総括と飛躍の課題(五)」
—「共産主義運動—軍団建設を媒介に社学同は共青への飛躍をかちとれ」
- 3月15日塩見孝也(共産同赤軍派議長)—逮捕
- 3月20日「戦旗」第216号「内戦＝世界革命戦争に向けた恒常的武装闘争を担う反帝戦線を全国に」
- 3月21日社会主義労働者同盟第八回中央委員会—三分裂開始
 - 社労同「新左翼」編集委員会—機関紙「新左翼」
 - 社労同—機関紙「赤焰」
 - 社労同共産主義委員会—機関紙「曙光」
- 3月21・22日全国反帝高評結成大会(400名)
- 3月25・26日反戦高協全国大会(32都道府県1600名・法政大学)
- 3月25日社学同早稲田大学支部解散宣言(社学同早大支部多数派・静間順二)
～社学同早大全学委員会—結成(機関紙「プロレタリア独裁」)
- 3月26日共産同関西政治集会(中之島公会堂・基調—三谷 進)
- 3月27・28日全闘高連活動者会議(大阪)
- 3月29日日本反帝戦線結成準備大会

- 3月30日反戦高連全国大会(24都道府県700名・東京麻布公会堂)
- 3月31日共産同赤軍派 日航機「よど号」ハイジャック(北朝鮮→キューバ)
田宮高麿(大阪市大)・小西隆裕(東大)・岡本 武(京大)・吉田金太郎(元工員)
赤木志郎(大阪市大)・田中義三(明治大)・安部公博(関西大)・若林盛亮(同大)
柴田泰宏(高校生)合計9名
- 3月×日全国反戦代表者会議の開催(30数県の地区反戦参加)
- 3月×日民主主義学生同盟統一会議—結成(機関紙「デモクラート」～民学同の分派)
- 4月1日日本革命戦線結成大会(共産同赤軍派系・日比谷公会堂—使用不許可・非開催)
- 4月4日京都労働運動研究会発足(前田良)
- 4月10日「戦旗」第218号「社会学委員長アピール」(佐脇正祐～反帝反スタ同時革命の立場主張)
- 4月15日共産同政治集会(中野公会堂・基調—佐々木和雄)
- 4月17日安保粉碎・沖縄解放・日帝打倒・アジア革命勝利ML同盟政治集会(中野公会堂・基調—豊浦 清)
- 4月20・21日社会党第三十三回定期大会(反戦青年委員会との絶縁決定)
～革労協解放派の抗議行動—機動隊導入
- 4月28日沖縄デー全国統一行動(全国20万人)
- 4月28日沖縄闘争勝利・安保粉碎大統一集会(東京・明治公園五万人)
(全国全共闘連合、全国県反戦、六月行動委員会—革マル派排除)
- 5月1日第1回釜ヶ崎メーデー(三角公園)
- 5月6日新聞「整列ヤスメ」発行(隊友社)
- 5月10日『序章』第2号(京大出版会「反逆への招待」・北海道大学出版会「逆光の思想」の合同・発行者—西嶋 彰)
- 5月14日三里塚連帯集会(同志社大)
- 5月15日『戦士』復刊7号(共産主義青年同盟関西地方委員会)
- 5月15日カンボジア軍事介入反対・アジア会議粉碎労学総決起集会(日比谷公園)
- 5月20日全国学生解放戦線臨時第三回大会
- 5月20日『呐喊』創刊号(関西救援会)
- 5月×日部落解放同盟『狭山差別裁判糾弾要綱』発表
- 6月1日共産同第9回大会第7回中央委員会(松本礼二、一条信治除名)
- 6月7日高原浩之(共産同赤軍派)逮捕
- 6月9日反戦全共闘集会(全電通会館、情況・叛旗派)
- 6月10日『赤軍』特別号「世界党建設・世界赤軍兵士へ飛翔する革命的九同志の出版宣言」
- 6月10日 物江克男(共産同赤軍派)逮捕
- 6月11日共産同政治集会(豊島公会堂・基調—佐々木和雄～情況派・叛旗派と対立、分裂)
- 6月×日共産同再建準備委員会—結成(松本礼二、一条信治・機関紙「ローテ」)
「共産主義者同盟再建へのアピール—日和見主義者集団—「戦旗派」を解体し、同盟を七〇年の前衛として再建せよ！」
- 6月12日「戦旗」228号「情況派＝松本一派の政治的イデオロギー的解体にむけ
「叛旗」「情況」右派連合を解体し世界党—世界赤軍建設へ！」(佐々木和雄)
- 6月12日全京都学生連合会結成大会(同大全学闘・京大C戦線・洛北戦線・龍谷大寮戦線・六甲戦線)
- 6月12日京大労働運動研究会(京大ストライキ闘争委員会)—結成(機関誌『なにをなすべきか』)
- 6月12日宮城県立仙台第一高校
- 6月13日人民総武装大決起集会(ML同盟・基調—豊浦 清)
- 6月13日奈良女子大学附属高校/校舎封鎖(高校入学時の40人カット廃止)
- 6月14日インドシナ反戦・反安保・沖縄闘争のための共同行動集会(代々木公園・3万名)
共産同「戦旗」派と叛旗・情況派衝突(「戦旗」派圧勝)
- 6月15日 首都青年労働者社会主義研究会(首都社研—竹内陽一・上田育子)結成
- 6月15日「理論戦線」第9号(社会学同1970年度全国合宿報告)
- 6月15日60年安保闘争・樺美智子虐殺10周年集会(日比谷野音—全国2万人)
- 6月19日「戦旗」第229号「情況・叛旗右派解党主義連合を解体しつくし、連続闘争の成果をふまえ、6・23へ進撃せよ！」
- 6月19日「三高襲撃事件」/宮城県立仙台第三高校～宮城県内高校生17人、職員室突入
- 6月23日日米安保条約自動延長・反安保集会(明治公園1万人—全国約77万)
- 6月23日「国立劇場前爆弾事件」(ML同盟への弾圧)
- 6月23日北海道立札幌南高校生徒会(反戦高連/革マル派系)安保反対ストライキ決議/8月8日生徒86人処分

- /8月15日全学闘争連絡会議/大衆団交—「札南闘争」
- 6月23日宮城県立仙台第一高校 /安保反対授業ボイコット
 - 6月24日私立灘高校全学闘争委員会—結成
 - 6月25日京都地方労働組合(反帝労組)結成/前田良典
 - 7月1~7日日本共産党第11回大会—「人民的議会主義」—「民主連合政府」方針決定
 - 7月6日日本ML同盟大政治集会(日比谷野外音楽堂・基調—鈴木 迪夫)
 - 7月5日全都労働組合活動家交流会会議—開催(「都労活」発足・機関誌紙『都労活』『都労活ニュース』)
 - 7月×日共産同拡大第8回中央委員会—(三上 治・神津 陽、除名。田原 芳、権利停止
「青学組織委員会」設置決定~KYM・AIFの結成決定)
 - 7月7日盧溝橋事件三十三周年記念集会(華青闘「七・七批判」)
(華僑青年闘争委員会「入管闘争を闘うなかから、民族の魂の復権を」)
 - 7月8日富村順一(ウチナンチュー)・東京タワー占拠
 - 7月11日川島宏(共産同赤軍派)逮捕
 - 7月17日首都労学政治集会(共産同叛旗派・基調—神津 陽、講演—吉本隆明)
 - 7月23日第1回小西誠裁判(新潟)
 - 7月24日社会主義学生同盟・共産主義青年同盟統合全国大会
 - 7月25・26日日本反帝戦線—結成大会(議長—米田隆治・中央青学組織委員会)
 - 7月30日平和台病院労働組合(兵庫県神戸市)—無期限ストライキ突入
 - 8月3日「8・3事件/東京教育大学海老原君事件」
(中核派、海老原俊夫・東京教育大学・革マル派を集団リンチ・死亡)
 - 8月5日「都労活ニュース」NO1—発行(都労活)
 - 8月6日海老原君追悼集会(東京・革マル派—中核派への殲滅戦宣言)
 - 8月7~11日反戦のための万国博(ハンパク・反博)/大阪城公園
 - 8月15日『烽火』再刊1号(共産同関西地方委員会「世界プロレタリア独裁へむけた綱領問題」)
 - 8月18~20日社労同全同盟会議—社労同共産主義委員会・結成
 - 8月15~17日革命的共産主義者同盟革マル派第3回大会
 - 8月×日革命的共産主義者同盟全国委員会総会
 - 8月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第四回大会・極東解放革命論の確立
 - 8月×日『左派』2号
 - 9月19日「戦旗」第241号「革命の正規軍を創出せよ!マルクス革命論の本質的解明」
 - 9月23日第二回全都労組活動家会議『都労活資料集—都労活』NO1—発行
 - 9月25日「戦旗」第242号「帝軍解体・革命の正規軍建設・ソビエト型組織建設」
 - 10月1日『反帝労組結成』発行(京都地方地域労働組合)
 - 10月×日『鉄の戦線』(共産同東京南部地区委員会)—創刊(さらぎ徳二・垂水俊介・杉田正夫・羽山太郎)
 - 10月×日『月刊地域闘争』—創刊(ロシナンテ社・京都)
 - 10月16日共産同政治集会(板橋区民会館、基調—松村三郎~「理論戦線」派と佐々木和雄対立)
 - 10月21日「女らしさってなあに」集会(東京・女性解放運動準備会・ぐる一ぶ闘うおんな)
 - 10月21日機関紙「ROT ローテ」第1号(共産同再建準備委員会)
 - 10月23日「戦旗」第245号「全国反帝戦線千四百余名結集、機動隊の壁を突破—防衛庁攻撃を貫徹」
 - 11月5~7日共産同第9回中央委員会(予定—延期)
 - 11月10日『鉄鎖を砕け』(共産主義者同盟「烽火」編集委員会)—発行
 - 11月25日(三島由紀夫—自決・「楯の会事件」)
 - 11月30日『理論戦線』第10号(共産主義青年同盟全国委員会・日本反帝戦線結成報告)
 - 11月30~12月1日日本社会党第三十四回定期大会(高見圭司解任、解放派13名除名)
 - 12月2日日本ML同盟政治集会(整風運動提起—「赤光」第109・110号終刊「臨時執行部」選出)
 - 12月5日共産同政治局・佐々木和雄『党の革命』への更なる推進むけて』(第9回中央委員会問題)
 - 12月5日共産同第9回中央委員会(日向 翔、野田 晋除名、機関紙「戦旗」)
(共産同関西地方委員会、神奈川県委員会、東北地方委員会、鉄の戦線編集委員会)
 - 12月10日『地下水道』(「呐喊」改題)第6号発行(関西救援会)
 - 12月13日第一回全国労組活動家会議
 - 12月17日共産同政治集会(牛込公会堂・叛旗派、基調—三上 治)
 - 12月18日共産同政治集会—開催(12・18ブント、基調—三谷 進)
(関西、東北地方委員会、神奈川県委員会、鉄の戦線編集委員会—主催)

- 12月18日「戦旗」第250号「スターリン主義打倒！反スタマルクス主義粉碎！革命的マルクス主義復権！」(12・18)
- 12月18日日本共産党(革命左派)―東京上赤坂交番襲撃・柴野春彦死亡
- 12月19日共産同第9回中央委員会(「理論戦線」派・日向 翔、野田 晋等・機関紙「戦旗」)
 (さらぎ=「鉄の戦線」派フラク)さらぎ徳二・垂水俊介・杉田正夫・羽山太郎
 (関西=「烽火」派フラク)三谷 進・榎原 均・野崎 進・高見沢洋一・永井武夫・竹野 巖
 (神奈川=「左派」フラク)稲沢 徹・鈴木路彦
 (独立グループ)中島二郎……………13名除名
- 12月20日沖縄コザ市暴動(5000人)―騒乱罪適用
- 12月21日社青同大阪地方本部第一四回大会―(太田 薫派、「根拠地」派除名、向坂逸郎派批判
 革労協解放派、「主体と変革」派の指導権→大阪地方本部の解体
- 12月23日「戦旗」第252号「一年有余の党の革命貫徹！右翼合同反対派を蹴散らし鉄の全国党建設へ」(日向派)
- 12月26日柴野春彦人民葬(救援連絡センター/3000人)
- 12月26・27日青年共産主義委員会―結成(社労同共産主義委員会の改組)・中村丈夫
 機関誌・紙『労働者権力』『燭光』～社労同分裂
- 12月×日統社同第九回大会―日本共産主義革命党へ改称・機関誌『団結』・小寺山康雄除名
- 12月31日ブント赤軍派(森・坂東)・革命左派(永田・阪口・寺岡)会合

● 1971年

- 1月15日「戦旗」第251号「蜂起をめざす単一党建設に進撃 合法主義者-日向派を容赦なく殲滅せよ」
- 1月20日「叛旗」(機関紙・共産同「叛旗」編集委員会)―創刊
- 1月25日蜂起戦争・武装闘争勝利集会(共催・革命戦線、京浜安保共闘450人)
- 1月×日阪神労働運動活動者会議(阪労活)―結成(代表―杉本昭典・事務局長―川島毅・機関誌『阪労活』)
- 1月×日共産同第10回中央委員会(12・18 ブント)
- 2月1日『共産主義』第14号(「八派共闘解体 蜂起をめざす単一党建設を！」12・18 ブント)
- 2月×日『キューバ通信』―創刊(～5号・日本キューバ文化交流研究所・事務局長―藤本敏夫)
- 2月×日京都大学レーニン研究会―結成(機関誌『ボルシェヴィズム通信』～京大C戦線)
- 2月3日『ボルシェヴィズム通信』創刊号(京大レーニン研究会)
- 2月7日「RG 裁判闘争勝利」集会(中之島公会堂/主催:関西救援会)
- 2月12～14日日本社青同第十回大会―革労協・第四インターを除名。大田派不参加
- 2月15日『共産主義革命』創刊号(労働者共産主義委員会)
- 2月17日日本共産党(革命左派)―真岡銃砲店(栃木県)襲撃―銃器奪取
- 2月22日三里塚第一次強制代執行(逮捕者四百名)
- 2月22日赤軍派M作戦(千葉縣市原辰巳台郵便局襲撃)
- 2月25日『ボルシェヴィズム通信』第2号
- 2月28日重信房子(共産同赤軍派)―レバノンへ「出国」
- 2月28日全国労働運動活動者会議準備会(東京王子労政会館)
- 3月15日『査証 VISA』(査証編集委員会)―創刊
- 3月18日パリ・コンミュン―〇〇周年記念集会―「沖縄・三里塚を闘う七〇年代戦線」結成
- 4月2日三里塚反対同盟・三里塚統一救済「革マルによる野戦病院車襲撃糾弾声明」
- 4月×日北大阪叛軍行動委員会―結成(北大阪地区反戦青年委員会の改組)
- 4月×日『鉄の戦線』2号(共産同鉄の戦線編集委員会)
- 4月10日『共産主義』第14号(9大会9中央委報告・日向派)
- 4月11日(第七回統一地方選挙―美濃部亮吉東京都知事・黒田一一大阪府知事)
- 4月13日「戦旗」第262号「権力の破防法弾圧、野合三派の敵対策動を撃破し、4・28の前哨戦に勝利し…」
- 4月15日「戦旗」256号「わが同盟の一反帝戦線の領導下、革命戦線・京浜安保共闘とともに
 蜂起―戦争貫徹の隊列へ」
- 4月27日共産主義者同盟政治集会(南部労政会館・基調報告―日向 翔)
- 4月28日「蜂起戦争派集会」(清水谷公園・4百名)
 (12・18 ブント、共産同赤軍派、日共革命左派、同大全学闘、京大C戦線)
- 4月28日沖縄返還協定粉碎！5月調印阻止中央集会(日比谷公園・全国全共闘連合・全国反戦)
 「日向」派と「12・18 ブント」等との内ゲバ、
 「12・18 ブント」の敗北―「12・18 ブント」内部で論争、分岐開始
- 5月2・3日革命的共産主義者同盟革マル派第4回大会
- 5月15日「戦旗」第257号「三派集会の成功をふまえ 蜂起―戦争の大道を進め！」

- 5月19日沖縄返還協定調印阻止全関西集会
- 5月23日「戦旗」266号「階級的暴力の原則的駆使に関するわれわれの立場」
- 6月15日沖縄返還協定調印阻止集会(明治公園/全国全共闘、全国反戦統一集会/「奪還派」VS[解放派]の内ゲバ)
- 6月15日全京都学生連合会(京学連)—結成(京大C戦線、立命大L戦線、同大全学闘)
- 6月17日沖縄返還協定反対集会/全国全共闘、全国反戦の分裂/(明治公園)—中核派・第四インター
共産同赤軍派、鉄パン爆弾を投擲
(宮下公園)—沖共闘=革労協・共産同戦旗派・統社同・共労党
- 6月17日沖縄返還協定調印実力阻止全京都学生統一行動
- 6月×日共産主義者同盟(叛旗派)-結成(三上 治・神津 陽-機関誌・紙『叛旗』『叛旗』)
- 6月20日『共産主義』第15号(「国際主義と非合法党」12・18ブント)
- 6月23日(第九回参議院銀通常選挙—高見圭司、立候補13万5620票・「議会にゲリラを！」)
- 7月3日志田重男(金井貞吉・元日本共産党・日本共産党(解放戦線))—死去
- 7月14日京都教育大学附属高校/宿直室封鎖/11月11日教務室封鎖(受験教育体制に乗った附高教育粉碎)
- 7月15日日本労働者階級解放闘争同盟(人民の力)—結成
機関誌『人民の力』68年6月1日創刊・社会主義協会(大田派)等の分裂
- 7月15日「統一赤軍」—結成(共産同赤軍派と日共革命左派・機関誌『銃火』)
『銃火』創刊号(「日本革命戦争の本格的開始に向けて、革命党建設—『赤軍』強化、発展をかちとろう！」)
- 7月16・17日日本反帝戦線第二回大会(共産同「戦旗」派)
- 7月30日平和台病院(兵庫県神戸市)に共産同赤軍派、火炎瓶投擲(後日、自己批判)
- 8月×日『日本赤色救援会の復権に向けて』(『もっぶる』NO-0)
- 8月×日国際主義労働者委員会(ILC)結成—日本革共同系
- 8月14~17日三里塚 幻野祭(主催・三里塚反対同盟青年行動隊5000人)
- 8月21・22日革共同革マル派第5回大会
- 9月×日社青同第十回再建大会(委員長—樋口圭之介—機関紙「団結の砦」~革労協解放派)
- 9月×日『佐藤政府を倒せ！武装闘争と大衆運動を結合・発展させよ！』(佐野茂樹)
- 9月×日12.18ブント軍事委員会—荒岱介、廣松渉襲撃
- 9月14日連合赤軍結成集会(四谷公会堂)
- 9月16日三里塚第二次強制代執行(東峰十字路闘争—機動隊一個大隊殲滅警官3名死亡)
- 9月25日映画『赤軍—PFLP世界戦争宣言』上映隊結成
- 9月25日沖縄青年委員会(革共同中核派系)—皇居突入闘争
- 9月25日『キム』創刊号(共産主義青年同盟—12・18ブント系)
- 9月26日関西保安処分共闘会議—結成大会(京都・事務局長—星野征光)
- 10月×日『鉄の戦線』3号(共産同鉄の戦線編集委員会)
- 10月3日共産主義者同盟(RG)—結成(議長—高見沢洋—機関誌・紙『共産主義』『赤報』)
- 10月3日私立麻布高校/団交要求校内突入/15日ハリスト(山内体制打倒)
- 10月8日10・8羽田闘争4周年沖縄返還協定批准実力阻止全関西統一行動
- 10月13日「戦旗」第279号「非公然軍事戦闘の推進に関する我々の見解」共産同軍事委員会(日向派)
- 10月14日共産主義者同盟政治集会—共産主義者同盟(戦旗派)へ改称・議長—荒 岱介
- 10月18日日石地下郵便局爆破闘争—共産同(戦旗派)RG隊
- 10月19日沖縄青年同盟、衆議院本会議で爆竹投擲・「沖縄返還協定粉碎！」ピラ配布
- 10月24日東京都内数ヶ所交番爆破(黒ヘル、RG派等)—爆弾闘争の開始
- 10月25日「蜂起」第15号(共産主義青年同盟)—創刊
- 10月30日『理論戦線』第11号(共青同全国委員会)
- 11月1日『季刊労働運動—階級的労働運動の構築をめざして』—創刊(阪神現代社→柘植書房~41号終刊・85年)
- 11月×日共産主義者同盟(全国委員会)—結成(議長—永井武夫、機関紙「烽火」創刊)
- 11月×日『内乱と武装の論理』(前進社/清水丈夫/津久井良作)発行
- 11月1日機関紙「烽火」265号(「戦旗」264号継続「非合法党建設へ向けて更なる進撃を開始せよ！」)
- 11月6日沖縄返還協定粉碎協共闘会議(沖共闘)—結成(共産同(戦旗派)、革労協、統社同)
- 11月10日「蜂起」第16号~(共産主義者同盟)
- 11月10日沖縄—全軍労・県教組・官公労、協定粉碎・比重阻止ゼネスト
- 11月12日共産主義者同盟(全国委員会)政治集会(大阪府立教育会館・基調—永井武夫)
- 11月13日沖縄・三里塚・人民と戦士全国集会(安田講堂前)
- 11月14日沖縄返還協定粉碎「東京大暴動」(中核派—渋谷暴動1800名逮捕)

- 11月15日機関紙「赤報」第1号「我々の立脚点と世界革命戦争」共産同(RG)
- 11月15日私立麻布高校/山内校長代行辞任/闘争勝利
- 11月19日沖縄返還協定反対闘争(中核派—日比谷暴動)
- 11月24日沖縄返還協定反対集会(36都道府県、158カ所)
- 12月×日共産主義労働者党—四分解
 - 共労党(赤色戦線派)・武藤一羊・いいだもも—機関誌紙『紅旗』『赤火』
 - 共労党(プロレタリア革命派)・白川真澄—機関紙「統一」
 - 労働者党全国協議会・内藤知周—機関紙「労働者通信」
 - 労働者党全国委員会・樋口篤三—機関紙「革命の炎」
- 12月1日「白衣の監獄解放」！平和台病院闘争「十二月決戦」(兵庫県神戸市)
- 12月1日『政治過程論』(共産同資料編集委員会・前夜社)
- 12月1日「烽火」266号「11・19北大阪・梅田を武装占拠」
- 12月4日革マル派、関西大学で正田三郎(同大)、辻 敏明(京大)等襲撃—死亡
- 12月5日保安処分粉碎全国共闘会議(保全共・事務局長—山本康夫医学連委員長)—結成大会
～共産同戦旗派の介入・分裂
- 12月6日日本共産党第六回中央委員会(「民主青年同盟に対する指導と援助について」決議+「年齢条項」)
～「新日和見主義」形成
- 12月8日「前進」号外「声明 同志の虐殺に満身の怒りをこめ復讐を誓う」全面戦争開始/K=K連合論—フェーズ I 開始
- 12月10日蜂起・反帝戦線政治集会(基調—寺田英四郎・共産主義青年同盟)
- 12月×日部落解放中国研究会—結成・西岡 智、駒井昭雄、泉海節一、機関誌『紅風』
- 12月18日土田国保警視庁警察部長邸爆破闘争—共産同(戦旗派)RG隊
- 12月18日日本赤色救援会復権大会(もつがる社)
- 12月31日「金日成首相同志への手紙」(田宮高磨以下・・日本革命家一同)
- 12月×日非公然冊子『雲と火の柱』発行(革共同全国委員会)
- 12月×日田川和夫(革共同全国委員会) 革マル派から襲撃される

● 1972年

- 1月1日「前進」564号「勝利の七二年を武装進撃せよ～人民革命軍・武装遊撃隊を建設せよ」(本多延嘉)
- 1月×日滝田 修(京都大学助手・竹本信弘)「赤衛軍事件」で全国指名手配
- 1月15日「烽火」267号「70年代、蜂起—臨時革命政府樹立へ向け 単一党建設へ進撃せよ！」
- 2月1・15日「烽火」268・9合併号「戦士＝組織者」たる革命家の集団へ同盟を打ち鍛えよ」
- 2月11日紀元節粉碎全関西集会(京都大学)
- 2月14日勝浦食堂—閉店(大阪市釜ヶ崎～若宮正則—共産同赤軍派釜ヶ崎地区委員会)
- 2月15日銃打銃警官狙撃闘争(新宿・千葉正健)
- 2月19～28日連合赤軍5名—あさま山荘銃撃戦—肅清「連合赤軍事件」(12名死去)発覚
- 2月×日共産同神奈川県委員会「左派」—「長期方針」「各個人による自力更生」(解散)
- 2月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第五回大会
- 3月×日日本共産主義革命党第八回中央委員会総会—「整風運動」(「三里塚女性差別事件」)
- 3月×日(京大)労働運動研究会、首都青年労働者社会主義研究会—合同
- 3月1日「怒濤」52号「連合赤軍」兵士に対する警察の弾圧に抗議し、一切の反革命、反動的攻撃をうち砕け」
- 3月15日「解放」91号「小ブル急進主義(連合赤軍)の破産を越えて権力の反革命大包囲網を粉碎し、
プロレタリア革命へ向かって前進せよ」—革労協(社会党・社青同解放派)
- 3月21日「世界革命」266号「声明 連合赤軍について」
- 3月23日「戦旗」294号「連合赤軍の破産に関する我々の見解」(共産同日向派)
- 3月23日「赤報」特別号「連合赤軍の闘争に対する我々の態度」共産同(RG)
- 3月25日「赤報」2号「非合法党建設の第二段階について」
- 3月25日「蜂起」24号「我々の建党—建軍路線と連合赤軍の破産」
- 3月31日HJ二周年・銃撃戦万歳・故連合赤軍兵士追悼人民集会(日本赤色救援会・・他)
「3.31HJ2周年—銃撃戦万歳！故連合赤軍兵士追悼人民集会へのアピール」
(共産同赤軍派東京都委員会・関西地方委員会)
「声明 総括と自己批判・闘争宣言」(日本共産党(革命左派)神奈川県常任委員会)
- 4月1日「反戦共闘」6号「連合赤軍「肅清」事件に対するわれわれの態度」(反戦共闘事務局)
- 4月5日「叛旗」29号「日本革命運動の革命的批判のために 連合赤軍派に対するわれわれの見解」
- 4月6日「解放」227号「連合赤軍によるあさま山荘事件ならびに大量リンチ殺人事件について」の声明(革マル派)
- 4月×日『再生にむけて』第1号(共産同赤軍派東京都委員会)—発行

- 4月13日～25日森恒夫(連合赤軍)、「自己批判書」執筆
- 4月14日**共産同叛旗派関西政治集会(三上治)**
- 4月15日「ROT」14号「連合赤軍事件に対する共産主義者同盟の自己批判 暴力・党・粛清について」
- 4月20日「烽火」273号「連合赤軍の敗北と破綻を血の教訓とし、体系的非合法党建設に一層邁進せよ
連合赤軍問題に対する我々の態度」
- 4月27日反戦自衛官6名、記者会見「声明」(与那嶺均・福井茂之・内藤克久・河鯖定男・小多基実夫・小西誠)
- 4月28日沖繩デモ闘争(全国十二万人)・中核派・第四インター系集会(芝公園)―反戦自衛官6名登壇
- 5月×日『革命権力』第2号(前衛・労働者革命委員会・水沢史郎)
- 5月1日『毛沢東盲従の末路―「連合赤軍」事件の根源をつく』(日本共産党中央委員会出版部)
- 5月1日共産同赤軍派―よど号グループ共同会見(自己批判 金日成主義支持)
- 5月1日第3回釜ヶ崎メーデー(三角公園)
全港湾建設支部西成分会・共産同赤軍派釜ヶ崎地区委・日中友好協会正統本部
大阪西南反戦同盟・京大C戦線・桃大連合戦線・山谷反戦青年委員会・山谷現場闘争委員会
- 5月6日あたり前の女から女たちへ！第一回リブ大会(東京)
- 5月7日北熊本自衛隊西部方面隊攻撃爆弾闘争(共産同「鉄の戦線」派RG)
- 5月13日「5・13 神田遊撃戦」(共産同戦旗派・沖繩返還反対闘争)
- 5月15日「赤報」3号「連合赤軍の闘争に対する我々の態度」共産同(RG)中央委員会
- 5月15日沖繩式典阻止全関西労学統一行動
- 5月22日日本共産党―京都大学文学部Y・Sさん、経済学部Kさんを「告訴告発」
- 5月30日PFLP/パトリック・アルグレロ隊・リッダ闘争(テルアビブ国際空港襲撃闘争)
奥平剛士(京大)・安田安之(京大)戦死、岡本公三(鹿児島大)捕虜―「赤軍声明」
- 5月×日田川和夫(革共同全国委員会)―離党
- 6月1日暴力手配師追放釜ヶ崎共闘会議(釜共闘)―結成
- 6月×日共産同(戦旗派)第11回中央委員会―「恒常的武装闘争路線」確定
- 6月15日安保闘争12周年全関西労学統一行動
- 6月15日反弾圧真相報告集会
- 7月×日第一回全国労働組合活動家交流集会―全国労働運動活動者会議(全労活)―結成
(松本礼二・樋口篤三・根岸敏文・芳賀民重・佐藤芳夫・比留間長一・大塚正立―機関紙「全労活ニュース」)
- 7月5日「烽火」276号「赤軍派の解体の思想的根拠 綱領・戦略の確立のために」
- 7月6日共産同(全国委員会)政治集会(基調―永井武夫)
- 7月10日赤軍兵士戦線復帰集会(同志社大学・八木健彦・上野勝輝/
関西もつぷる社・同大全学闘・京大C戦線・桃大連合戦線・阪大寮戦線・和太医療戦線)
- 7月12日日本反帝戦線第三回大会(共産同(戦旗派)・九州大学)
- 7月22-23日マルクス主義労働者同盟(マル労同)―結成・全国社研第四回大会
- 8月1日解放委員会―結成(機関誌『解放通信』・・・IDML同盟)
- 8月×日統一共産同盟第八回大会―「構造改良路線」の転換開始(評議会革命)
- 8月×日革共同革マル派第6回大会
- 8月13～18日第一回釜ヶ崎夏まつり(三角公園)―釜共闘
- 8月14・15・16日幻野祭 72 京都(第2回幻野祭)(京都大学農学部グランド)
―西部講堂屋根「オリオンの三つの星」ペイント
- 8月16日パレスチナ・インドシナ人民連帯日本二戦士追悼国際集会(京都大学)
- 8月20日『ボルシェヴィズム通信』第7号
- 8月25日インドシナ革命勝利政治集会(檜町公園)「8・25共闘」―結成
解放委員会、赤軍派東京都委員会、共労党(赤色戦線)、反戦共闘 → 四派共闘
- 8月25日『共産主義』15号(共産同戦旗派)
- 9月11～18日「前進」第600・601号「レーニン主義の継承か、レーニン主義の解体か」(本多延嘉)
- 9月16日三里塚を闘う人民大集会(日比谷公会堂)
- 9月27～29日日本民主青年同盟第12回全国大会―「新日和見主義者」を除名
- 9月29日(「日中共同声明」―田中角栄・周恩来)
- 10月×日共産主義者同盟蜂起派―結成(さらぎ徳二・機関誌紙「鉄の戦線」「蜂起」第15号～)
- 10月1日『鉄鎖を砕け』NO1(共産同全国委員会首都圏委員会)―発行
- 10月6日共産主義者同盟政治集会(基調―仏 徳二)
- 10月19日全国反帝戦線連合総決起集会(幡ヶ谷区民会館―叛旗派)
- 10月21日「8・25共闘」集会

- 10月31日森恒夫(連合赤軍)、「自己批判書」撤回
- 11月8日川口大三郎(早稲田大学)君—革共同革マル派によって拉致、リンチ、死亡
- 11月10日京都大学教養部(C)代議員大会(反日共系のヘゲモニー確立)
- 11月17日川口君追悼集会(早大大隈講堂)—早稲田解放闘争の開始—早稲田行動委員会
- 11月×日VZ-58 機関誌「檄鉄」—発刊
- 11月29日京都大学同学会再建全学代議員大会
- 11月30日『理論戦線』12号(共産主義青年同盟)
- 11月×日『内乱期の反革命』(前進社)発刊
- 12月×日『塩見孝也論叢』—創刊号～9号(74年12月)
- 12月×日首都青年労働者社会主義研究会(首都社研)—(京大)労働運動研究会メンバー除名
- 12月8日共産主義者同盟政治集会(両国公会堂—叛旗派)
- 12月14日共産同叛旗派関西政治集会(神津陽・三上治)
- 12月20日京都大学同学会—再建(委員長—八島久男・国際機関誌『THE DOHGAKKAI』)